

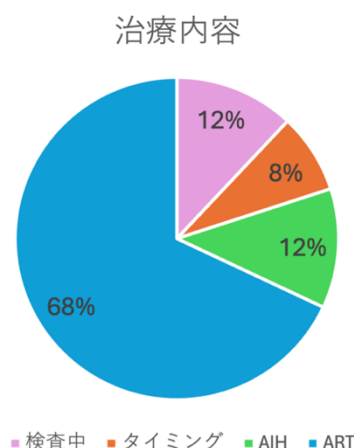
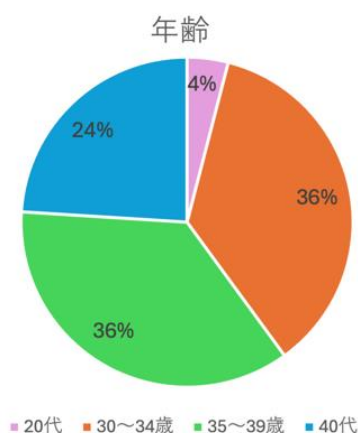
流産に関するアンケート結果のご報告と 私たちからのメッセージ

当院では、患者様により寄り添った医療やサポートを提供するため、流産を経験された方を対象にアンケートを実施いたしました。お忙しい中、貴重なご意見・お気持ちをお寄せいただき、誠にありがとうございました。

皆様からいただいた温かいお言葉や、率直なご意見・お悩みは、スタッフ一同しっかりと受け止めております。結果の一部と、皆様からいただいたお声をまとめましたのでご報告いたします。

1. アンケートの概要

- ・ **対象**：流産のご経験がある既婚の患者様（25名）
- ・ **平均年齢**：35.9歳（最年少23歳、最高43歳）
- ・ **平均不妊治療歴**：3.8年
- ・ **平均不妊治療歴**：3.8年（最短1年～最長11年と幅広い）。
- ・ **流産回数**：平均1.3回（1回：17名、2回：6名、3回：1名、化学流産1名含む）。
- ・ **現在の治療内容**：**ART（高度生殖医療）が88%（17名）**

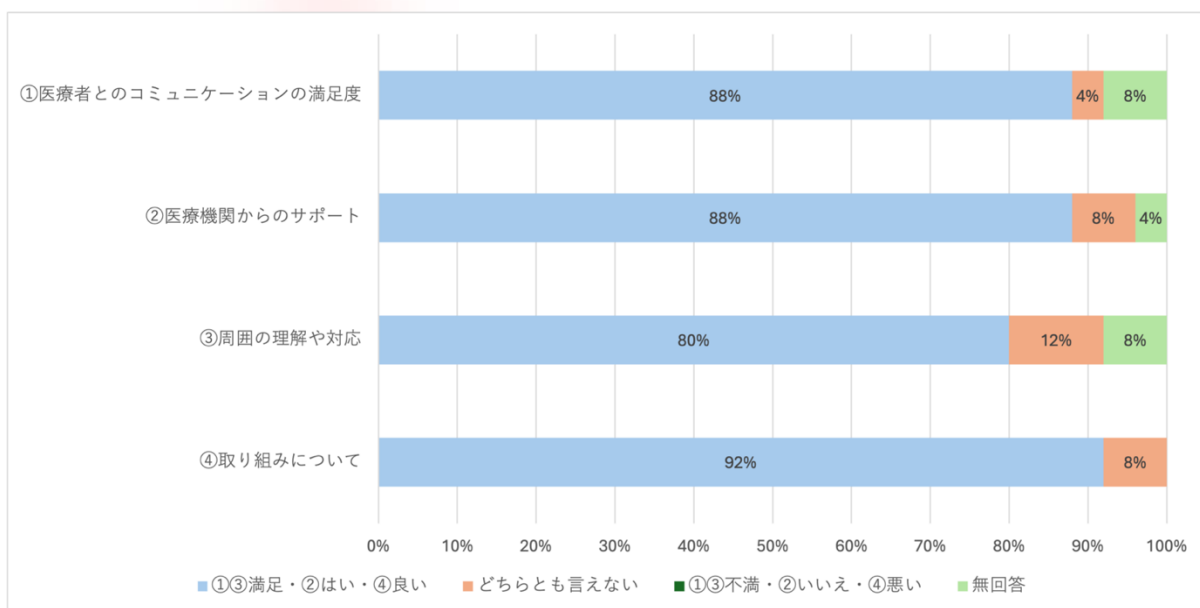


2. 皆様からの声（アンケート結果より）

① 医療者とのコミュニケーション・サポートについて

・88%の方が
「医療者とのコミュニケーションに満足している」
「医療機関からのサポートは十分だった」と回答してくださいました。

・以下のような温かいお言葉も多数いただきました。
「先生の前向きな声かけに救われた」
「看護師さんが別室で丁寧に説明・確認してくれて分かりやすかった」
「いつも優しく寄り添ってもらえて病院に来るのが嫌じゃなかった」



② 治療中や流産後に「心の支えになったもの」

多くの患者様が、ご家族やパートナーの存在、そして医療者のサポートを心の支えにされていました。

•**治療中**：夫（36％）、家族（23％）、友人（13％）、医療者（10％）など

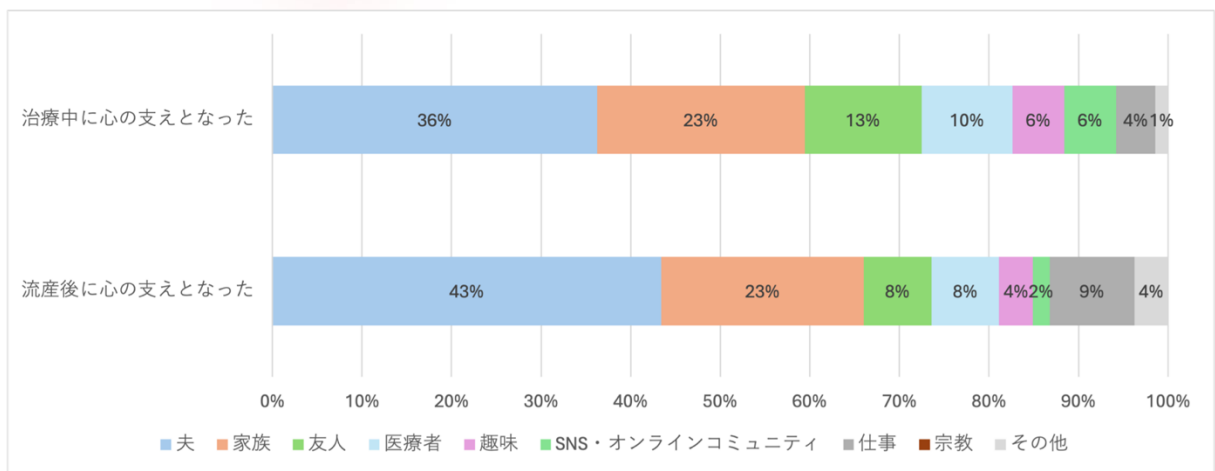
•**流産後**：夫（43％）、家族（23％）、友人・医療者（各8％）など

「夫が側にいてくれたこと」

「私のせいではないと言ってもらえたこと」

「ゆっくり休んでね、無理に前を向かなくていいよと言ってもらえたこと」

などが大きな支えになったというお声をいただきました。



③ 皆様が抱えていらっしゃるお気持ちやご負担について

・お仕事との両立や通院のスケジュール調整、身体的・精神的なご負担の中、懸命に治療に向き合われているお姿がうかがえました。

・流産後のお気持ちとして、「とても悲しかった」「立ち直るのに時間がかかった」「また同じことになるのではないかと不安だった」という深い悲しみや葛藤の一方で、「原因が分かったことが次に進む支えになった」「少しずつお医者さんや自分、赤ちゃんを信じようと思えるようになった」というお声も寄せられています。

3. 院内での取り組みについて

今回のアンケートで「今回の取り組み（サポート等）はいかがでしたか？」という問いに対し、92%の方が「良かった」とご回答くださいました。

一方で、「支払い方法の選択肢（クレジットカード対応など）を増やしてほしい」「治療のスケジュールをもう少し具体的に知りたい」といった貴重なご要望もいただいております。スタッフ間で共有し、より通いやすく安心できる環境づくりに向けて改善に努めてまいります。

最後に：スタッフからのメッセージ

流産を経験されたときのお悲しみやご不安は、計り知れないものだと思います。

「無理に前を向かなくていい」「ゆっくり休んでいい」…

皆様が抱えるお気持ちに寄り添いながら、私たちはいつでもあなたの味方としてサポートを続けてまいります。

不安なこと、分からないことがありましたら、いつでもスタッフにお気軽にお声がけください。